

提出順	//	発言順	//	令和4年9月1日 午前・午後 / 時55分受領
-----	----	-----	----	----------------------------

(2 枚中No.2)

令和 4 年 9 月 1 日

(宛先) 安曇野市議会議員 平林 明

安曇野市議会議員 矢澤 毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	リユース促進によるゴミの減量政策について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

環境省の令和2年のまとめによれば、一人当たり1日約900グラムのごみを排出している。技術が発展し適応した今でも、埋め立て場や最終処分場については切迫を免れていない。SDGsの観点からも、多角的に考え、出来るところから行動していく必要がある。ゴミ処理の現状と、粗大ごみなどのリユースの取り組みを聞くとともに、今後のごみ減量の目標や政策について、また、「アップサイクル」の推進、直接的な粗大ごみの減量に繋がる官民連携のリユース促進事業(の紹介)の可能性について伺う。

- 安曇野市(民)のごみ排出量は。また処理量は。
- 安曇野市におけるリユース事業の事例は。
- 粗大ごみに類されるものについて、当市における処理量、処分方法について。
- ゴミ、廃棄物の減量について、今後どのような目標を立てて、取り組んでいくのか。
- 安曇野市として「アップサイクル」の取り組みを推進、奨励していく考えはあるか。
- 今回紹介する直接的な粗大ごみの減量に繋がる官民連携の取り組みを、安曇野市にも導入できないか。